

平成17年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成17年4月20日		記入者	内線	3397
部名	土木部	課名	下水道管理課	課長名	小菅庸夫
事務事業名	水質管理事業				
予算上の事務事業名	水質管理経費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		32630		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政策名	第2章 質の高い都市基盤の整備を進めます				
基本施策名	第6節 下水道の整備と管理				事業開始年度
施策名	第3施策 下水道管理の充実				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
下水道法第3条(管理)・第13条(排水設備等の検査)及び流域下水道維持管理要綱第18条(特定事業場等の監視)					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 指導・規制・許認可 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)		
工場・事業場排水を監視・指導し排除基準内で排出させることにより、都市基盤である下水道管の機能及び構造を保守し公衆衛生の向上に寄与し、併せて流域下水道からの放流水の適正管理が行われることにより公共用水域の水質の保全に資することを目的とする。			市内工場・事業場の内、特定事業場及び除害施設設置事業場。以下工場等という。		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
事前対策として ・特定施設や除害施設の設置等の申請書類の事前審査を実施(届出件数158件) 稼働後の工場等への対策として ・立入調査 81社 ・工場等の排水検査として435検体6,763項目の水質測定を実施(30検体36項目の改善指導を実施)					
6 関連・類似事業や他市の状況					
他自治体も同様な目的で実施している。 各自治体により下水道の接続率や接続工場数が異なるため比較が難しい。					
7 事業費の推移 [単位:千円]					
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	7,584	9,828	12,194	14,598	14,598
一般財源	6,914	9,390	10,998	13,956	13,956
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	670	438	1,196	642	642
人件費の合計	25,170	24,030	24,210	24,210	24,210
事業コスト合計(a)	32,754	33,858	36,404	38,808	38,808
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	水質管理事業			対象名称(単位)	工場等(社)
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	32,754	33,858	36,404	38,808	38,808
対象数	759	752	761	761	761
単位あたり経費(円)	43,154	45,024	47,837	50,996	50,996
前年度比		1.04	1.06	1.07	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	審査調査指導指数		指標式と指標の説明	(申請数+立入調査数+延べ水質検査項目数+指導項目数)/工場等対象数= 工場等に対する審査数等の合計を指数化し、事業活動を計る。	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	7	8	9		
目標	7	7	7	9	9
目標達成度	1.00	1.14	1.29		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	基準内排水率(%)		指標式と指標の説明	100 - (基準超過検体数/検査検体数 * 100) = % 排除基準内での排水率を把握し、適正な排水水の維持を図る。	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	97	96	93		
目標	97	97	97	97	97
目標達成度	100.0	99.0	95.9		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[] : 良好な状態を維持する事業				
	[] : 概ね良好な状況である事業				
	[] : 見直しを行う必要がある事業				
	[] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価(今後の方向性)			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 基準違反件数を減らすため監視指導を強化し、再発の防止を図ることが重要である。			14 課題として認識されたこと 検査サイクルの緩和については、監視指導強化が求められている中では困難である。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			